

知事コメント

令和5年1月5日(木)

県民の皆さま、新年あけましておめでとうございます。本日は、今年最初となります、新型コロナウイルスに関する知事コメントを発表させていただきます。

まず、感染状況についてご説明します。本日(1/5)の新規陽性者数は2,366名となっており、新規陽性者数の前週比は1.2前後で推移するなど、増加傾向が昨年から1ヶ月以上、続いています。また、発熱コールセンターにおける電話相談件数も年末年始より増えていることから、今後の感染状況を十分警戒する必要があります。

病床使用率につきましては、1月5日時点で35.2%、入院者数は237名となっており、特に、沖縄本島圏域の病床使用率が39.0%と高く、今後、入院者数が増えて医療ひっ迫につながらないように、注視していく必要があります。

新型コロナだけではなく、インフルエンザにも注意が必要です。昨年12月、県内の定点医療機関からの報告数が、2年9ヶ月ぶりに定点当たり1を超えるなど、インフルエンザ流行の兆しが指摘され、今週もさらに増加が見込まれるなど、新型コロナとの同時流行が現実となりつつあります。

既に一部の医療機関では、救急外来でインフルエンザ患者がコロナ患者を上回っている状況があります。今後、多くの発熱患者が受診を希望した場合、高齢者や重症化リスクの高い方が、速やかに受診できない可能性が高くなります。

そのため、高齢者や妊婦、透析患者のほか、症状がつらく受診を希望する方は発熱外来、かかりつけ医を受診し、それ以外の軽症の方は、できるだけ、検査キットによる自己検査で自宅療養するようお願いいたします。軽症の方で、健康相談や陽性者登録などに関することは、沖縄県陽性者フォローアップシステム(098-894-8291)までご相談ください。毎日9時から17時まで、健康相談は24時まで受け付けています。

これから新年会、あるいは、今週末からの連休期間中、県内各地で「二十歳の集い」「はたちの記念式典」等が予定され、普段会わない友人や知人との再会を楽しみにされている方も多いかと思えます。

多くの人が集まる式典や会食では、さらに感染リスクが高まります。参加予定の皆さまは、参加前に体調管理を十分に行うとともに、事前に検査で陰性確認を行いましょう。また、発熱、のどの痛み、咳、鼻水など、少しでも症状がある場合、外出は控えるようお願いいたします。

会食や友人との交流の際には、できるだけ大人数、長時間の集まりを控え、屋内や会話をする場面では、マスク着用をお願いいたします。会食する際には十分な換気を行う等、室内の換気に気を配りましょう。

昨年、オミクロン株対応ワクチン等を接種されていない方につきましては、年明けも、個別医療機関や県広域接種センター等において、引き続き接種しております。オミクロン株対応ワクチンは、従来型ワクチンを上回る重症化予防効果等が期待できますので、是非、接種をご検討ください。

県内では過去2年間、年末年始の期間中に感染拡大し、1月の連休後、特に、20代を中心とした若い世代の感染者が急増しています。今年は、先月末から新規陽性者数の増加に加え、インフルエンザ流行の兆しも見られることから、今後、新型コロナとインフルの同時流行への警戒が必要です。

県民の皆さまにおかれましては、自分自身、それから大切な方々を守るためにも、密集・密接・密閉の回避、十分な換気、また、場面に応じたマスクの着脱、手指消毒、毎日の健康観察等、今一度、基本的な感染対策を徹底しましょう。さらに、オミクロン株対応ワクチンやインフルエンザワクチンの接種を早めに済ませるなど、感染対策を万全にして、今年一年、健康に過ごせるよう、取り組んでまいりましょう。